

人工知能技術コンソーシアム 2025 年度事業計画書



目次

1. 2025 年度の計画.....	2
2. ワーキンググループ (WG)	3
3. 各 WG の活動予定	4
4. コンソーシアムの運営.....	11
5. 年間スケジュール (予定)	11
6. 収支予算.....	12

1. 2025 年度の計画

我が国が掲げる Society5.0、サイバーフィジカル社会の実現、デジタル変革(DX)の推進を目指し、人工知能技術や IoT・ビッグデータ活用、デジタル変革(DX)による課題解決に関心のある複数の企業や地域の関係機関を集め、全体会議やテーマごとの集会においてビッグデータを活用したデジタル変革(DX)推進プロジェクトや人工知能技術の活用事例(ユースケース)、動向の共有、意見交換、コンテストの開催及び協働プロジェクトの構想や実証結果の報告を行う。また同じ関心を持つメンバーから構成されるワーキンググループ(WG)を設け、各 WG 内で実証プロジェクトの立案、試行、協業を進めるなど、共創的価値創出を促進する。

2025 年度は、各 WG や地域拠点となるグループの相互作用を促進するためのリアルでの活動を積極的に展開し、それを補完するためにオンライン情報基盤も併用する。会員組織間での共創的価値創出をより加速させるとともに、AI 技術やビッグデータを用いたデジタル変革(DX)プロジェクトを定着させるための運用技術や価値創出、価値共創のプラットフォーム化を目指し、各 WG の活動の活性化もはかる。具体的には、多様な業種により構成された WG の中で、共通の課題を共有したメンバーを会員からの公募で増員し、協働プロジェクトチームとして活動し、実データ収集と技術シーズとのベストマッチング、価値あるユースケースとサービスやビジネスモデルの計画、ワークショップやコンテストを通じて具体的なアクションプランを構想、実施し、さらに振り返りとリフレームを繰り返す独自の метод論に基づき活動を展開できるような支援を行う。このアクションプランを実施した実証結果を得られたデータを分析、モデル化して効果を評価してコンテストなどで報告、表彰し、他の WG や地域のグループが参照できるような「リファレンスモデル」を集積し、教材としても活用することで、AI 技術の社会実装、デジタル変革(DX)推進モデルの水平展開、加速度的普及を目指す。このようにして得られたコンソーシアムの活動成果は地域支部 WG におけるセミナーや、公開シンポジウム、Web ページなどを通じて外部発信し、人工知能技術の社会実装、Society5.0 の実現、社会や産業のデジタル変革推進に向けた取り組みとして認知度を高め、普及を促進していく。

2.ワーキンググループ（WG）

各 WG は会員から構成メンバーを選出し、活動計画、予算案について運営委員の承認を得て活動を開始する。現在予定している WG は以下の通り。必要に応じて新たな WG を追加することもありうる。また、共通の関心に基づく研究会も追加していく。

2025 年度（22WG）

- ・ Human Life WG
- ・ データ・知識融合 WG
- ・ データプラットフォーム WG
- ・ ものづくり WG
- ・ AIリビングラボ WG
- ・ AIツール WG
- ・ データマイニング WG
- ・ ユースケース WG
- ・ 医療・ヘルスケア WG
- ・ 社会課題解決 WG
- ・ 深層学習 WG
- ・ サイバーフード WG(地域連携 WG と合同開催)
- ・ 観光 WG
- ・ 教育 WG
- ・ AI サービスシステム WG
- ・ Human Resource WG
- ・ バリューデザイン WG
- ・ 関西支部 WG
- ・ 東海支部 WG
- ・ 神戸支部 WG
- ・ 九州支部 WG
- ・ 地域連携 WG

3. 各 WG の活動予定

(1) Human Life WG

リーダー：金子奈美（株式会社メディヴァ）

サブリーダー：田島史也（PwC ビジネスアシュアランス合同会社）

【活動概要】

・多様な生活者の健康的な生活を維持・増進することを目的として、「誰も取り残さない健康」をテーマにデジタル技術、AI 技術活用の実証を行う。

【プロジェクト】

- ① オンライン健康イベントプロジェクト
- ② リアルイベントにおける健康プログラム検証
- ③ リアルとオンラインを融合した健康イベントプロジェクト
- ④ リアル健康イベント健康屋台をメタバース空間で運営

(2) ものづくり WG

リーダー：鶴川健太郎（株式会社セック）

【活動概要】

- ・AI 版ビジネスモデルキャンバスを活用した価値創造活動の普及（ワークショップなど／地域支部とも連携）
- ・ものづくり企業における DX 推進活動の事例共有（定例会、講演会など）

(3) 医療・ヘルスケア WG

リーダー：聖マリアンナ医科大学 小林泰之

サブリーダー：聖マリアンナ医科大学 石橋麻希

【活動概要】

- ・医用画像 AI モデルの作成：医用画像 AI における精度向上のための転移学習モデルの作成と応用、モデル公開することで医学研究や医療 AI 開発を促進させる。
- ・AI/ICT 搭載ロボットの医療現場への導入（ロボット介在療法）：臨床的有用性の検証実験（研究）、他の WG との積極的な共創による新産業創出を目指す。
- ・医療における AI/ICT に関する情報発信

(4) データ・知識融合 WG

リーダー：株式会社エボルブ/大阪教育大学 安松健

【活動概要】

ビッグデータ（量的データ）と質的データ、形式知と暗黙知、AI と人とモノを渾然一体としてデザインすることで、サイバーフィジカルなユーザー体験(UX)の創出に取り組む。

特に、生成 AI とバイジアンネットワークの統合活用にも注力していく。

(5) データプラットフォーム WG

リーダー：中野伊吹(大和ハウス工業株式会社)

【活動概要】

- ・SIP とのデータ検討連携
- ・地域でのデータ取得方法検討・実証
- ・データ価値の検証とビジネスモデルの構築
- ・API 連携によるデータ連結の可能性模索

(6) データマイニング WG

リーダー：株式会社 NTT データ数理システム 岩本 圭介

企画・ディレクション：株式会社 NTT データ数理システム 湯浅 麻紀子

メンバー：株式会社 NTT データ数理システム 山本 和寛、武藤 雅基

【活動概要】

企業におけるデータ活用を促進し、ビジネス課題を解決するための情報や事例の共有を行う。

特に、データマイニングや機械学習といった大量データに対する分析技術に焦点を当て、2025 年度も引き続きオープンイベントの開催を計画している。

【各プロジェクトの活動計画】

引き続きオープンイベントの開催を計画している。

(7) AI ツール WG

リーダー：株式会社クリアタクト 石田 和宏

サブリーダー：株式会社エフティー 梅崎 猛

【各プロジェクトの活動計画】

- ・ほいくあい PJ

「早期離職防止」モデルのブラッシュアップを行う。

「人材育成」を目的としたレコメンドの実現に向けた検討を行う。

- ・協同データ基盤 PJ

未定

- ・POSEIDON/PLASMA/BAYGLE 利用促進

観光 WG「神戸観光スポットオススメアプリ開発」について継続してサポートを実施 Human-Resource WG と連携し POSEIDON の活用を検討する。

(8) AI リビングラボ WG

リーダー：杉山

サブリーダー：上原

【活動概要】

Generative AI study group の企画運営

教育WGとのプロジェクト協力

研究会発の企画・運営

(9) WG 名：深層学習 WG

リーダー：高橋

サブリーダー：片山、太田

【活動概要】

ABCi3.0 での LLM 利用

ABCi3.0 で Langchain と何らかの大規模 LLM で AITec を紹介するエージェント構築

ABCi3.0 で独自エージェントを構築を体験する参加型セミナー

参加型セミナーでの AITec への参加企業の勧誘

自前で独自エージェントを構築してみたいユーザー寄り企業の勧誘

セミナー参加者に対してのメンターとしてのテック寄り企業の勧誘

ABCi3.0 以外の選択肢を提供可能なインフラ寄り企業の勧誘

おしゃべり AI ぬいぐるみ

おしゃべり AI ぬいぐるみに AITec を紹介する機能を実装する

他 WG イベントに出張し、可能なら対話形式でアンケートを取る

(10) AI サービスシステム WG

リーダー：山下和也

【活動概要】

科学館 PJ での日本科学未来館の事例で得られた成果の横展開の可能性を探る。

科学コミュニケーションイベントでの出展者側のシミュレーション活用を試みる。

AI 人材タイプ診断の代替設問を活かしたモデル改良版の展開を行う。

地域イベントで PDEM PJ での PDEM スパイラルアップの試みとシステム（UI・UX を含む）の更なる活用を検討する。

【各プロジェクトの活動計画】

科学館 PJ: 科学館（日本科学未来館）のワークショップにおける目指す状態へ導くファシリテーションの外在化・モデル化を行った成果の横展開の可能性を探る。

科学コミュニケーションイベント PJ（サイエンスアゴラ PJ 及び産総研・一般公開 PJ、臨海オンライン見学ツアーPJ の総称としての PJ）：産総研・一般公開やサイエンスアゴラ等のいずれかの科学コミュニケーションイベント等で、出展者側がこれまでのイベントのモデル化の結果を活用した何らかのシミュレーション結果を活用できるかを試行する。

AI 人材タイプ診断 PJ: 代替設問を活用した更にモデル更新を行い、新しい「AI 人材タイプ診断」を作成、その活用をはかる。

地域イベントで PDEM PJ:

地域イベントで PDEM スパイラルアップを実現する実例をシステム面（UI・UX の検討を含む）での検討をはかり、実際の地域イベントで試用する。

(11) 関西支部 WG

リーダー：西田 昌弘（大阪商工会議所）

【活動概要】

- ・AI に関する動向や事例、活用方法等情報の継続的な提供
- ・具体的なプロジェクト創出に向けたビジネスマッチングや実証支援
- ・クラスター登録企業間や AITeC 会員企業との人材交流促進

(12) 神戸支部 WG

リーダー：狩野恒一

【活動概要】

- ・セミナーとイベント実施

【計画しているプロジェクト】

マッチングイベント実施（神戸商工会議所共催）

スーパーコンピューターによるワークショップ実施（FOCUS 共催）

神戸大・中高生 DS コンテスト支援

(13) 地域連携 WG

リーダー：片山敏弘（メディカル DX リサーチ合同会社）

サブリーダー：渡辺健司（立命館大学） 関西広域担当

【活動概要】

地域連携 WG は地域内連携強化と普及促進の拠点づくりと、地域間連携によるネットワークの拡大による事業拡大支援を目指す。

- ・目的 : 地域の DX 推進活動を支援する。(主として実ビジネスにおける PJ 立上げ支援)
- ・方法 : 地域の DX 推進ニーズに応じて産総研および AITeC のシーズをマッチングし、それを集積、メ
ニュー化し、地域 DX-PJ 支援に活用する。
- ・成果 : DX-PJ の創出による地域の DX 推進力向上を目指す。
- ・上記のため、以下の関係を継続・強化を図る。

【他 WG との連携】

- ・関西広域連携 : 関西支部 WG、神戸市部 WG、教育 WG、データ・知識融合 WG、
- ・生成 AI 活用 : 深層学習 WG、GASG

【地域の行政機関・団体・企業との連携】(担当)

- ・大阪市経済戦略局 (片山)
- ・大阪市水道局 (渡辺)
- ・大阪産業局 (片山)
- ・関西広域連合 (渡辺)
- ・けいはんな学研都市 (関西文化学術研究都市推進機構) (渡辺)
- ・新産業創造研究機構 (NIRO) (渡辺)
- ・川崎重工 (渡辺)
- ・AIST Solution (深層学習 高橋、漆原)
- ・関西 MACC (株式会社松尾研主催) : 会員企業排出見込み、ABCI ユーザ見込み (片山)
- ・新潟県 (NICO 丸山)
- ・新潟県工業技術総合技術研究所 (新潟県の公設試) (NICO 丸山)

【地域拠点新規創出・育成】

- ・北陸 (新潟県、福井)
- ・東北 (宮城、秋田)
- ・四国 (香川)
- ・九州 (宮崎・小林市)
- 全国各地域で理念、目的を一致できる団体、企業、アカデミアなど、会員に迎え共創につながる仕組
みと機会を構築する。

(14) 教育 WG

【活動概要】

- ・高等学校における生成 AI を利用したプラットフォーム作成

リーダー : 林 兵馬

サブリーダー : 林 宏樹

○「課題研究と生成 AI」では、生成 AI を活用した探究学習支援システムを開発
生徒が自ら課題を設定し、情報収集から仮説検証、成果発表に至る一連のプロセス全体を支援すること
で、自己主導的かつ創造的な学びの環境を実現する。

・「(仮)人工知能技術コンソーシアム主催データサイエンスコンテスト」(以下、DS コンテスト)

リーダー：林 兵馬

サブリーダー：林 宏樹

アドバイザー：板井 光輝

【活動概要】

- ・対象：中高生、大学生、大学院生
- ・DS に関する課題を作成し、参加者に配付する。
参加者は課題に対する提案を作成の上提出する。
提出された作品を評価し、表彰する。

・整体師育成のための教育アプリの開発

リーダー：林 宏樹

【活動概要】

AI を活用した教育コンテンツとして、整体師をターゲットにした施術指導アプリの開発を行う。このアプリケーションは、患者の特定の画像や動画を基に症状を判定し、適切なトレーニング方法や原因となる筋肉の箇所を選択肢として提示する機能を備えることを想定している。

(15) ユースケース WG

リーダー：田島史也（PwC ビジネスアシュアランス合同会社）

【活動概要】

昨年度に引き続いて Human Life WG との共同での活動を予定。

- ・多様な生活者の健康的な生活を維持・増進することを目的として、「誰も取り残さない健康」をテーマにデジタル技術、AI 技術活用の実証を行う。

オンライン健康イベントプロジェクト

リアルイベントにおける健康プログラム検証

リアルとオンラインを融合した健康イベントプロジェクト

リアル健康イベント健康屋台をメタバース空間で運営

【各プロジェクトの活動計画】

- ① POSEIDON の機能を活用したオンライン健康イベントコンテンツの開発とイベントプロジェクト運営におけるオンラインコンテンツ試作とイベント評価

- ② リアルとオンラインを融合した健康イベントプロジェクト
- ③ リアル健康イベント健康屋台をメタバース空間で運営

(16) 東海支部 WG

リーダー：片山善寛、伊藤久司

【活動概要】

主催イベント・共催イベントによるコンソーシアム活動への集客・認知向上
主に東海エリアにおける新たな課題抽出

計画しているプロジェクト

主催イベント・共催イベントの開催

開催日：年間 3 回程度

開催方法：オンライン、またはレンタル会議室（状況次第で判断）

想定内容：

- ・ ABCI オフラインイベント（サービス紹介、ハンズオン）
- ・ 中部地区での他 WG 共催イベント
- ・ その他外部団体（地場の AI スタートアップ企業やコミュニティ等）との共催イベントミートアップ

開催日：未定

開催方法：オンライン、または会員企業等の会議室（状況次第で判断）

内容：新たな研究課題の議論（必要に応じた WG との連携を含む）

(17) Human Resource WG

リーダー：大和田智之

【活動概要】

- ① ベイジアンネットワークを用いた Well-being に関する従業員調査についての分析
- ② 生成 AI を用いた求人案件と候補者のマッチングシステムの構築
- ③ 性格データ等を元にした社内人事等におけるマッチングシステムの構築

4. コンソーシアムの運営

本コンソーシアムの運営は以下のメンバーから構成される運営委員会が実施する。なお運営委員は適宜追加する可能性がある。

会長：本村陽一（産業技術総合研究所）

副会長：豊田俊文（産業技術総合研究所）、武井明則（PwC ビジネスアシュアランス）、松岡竜大（ライズ・コンサルティング・グループ）、大江規之（コンフォワード）

運営委員：金子奈美（株式会社メディヴァ）、鶴川健太郎（セック）、黒田由加（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング）、田島史也（PwC ビジネスアシュアランス）、小林泰之（聖マリアンナ医科大学）、石橋麻希（聖マリアンナ医科大学）、林兵馬（神戸大学附属中等教育学校）、林宏樹（雲雀ヶ丘学園）安松健（大阪教育大学、エポルヴ）、猪谷誠一（博報堂）、中野伊吹（大和ハウス工業）、湯浅麻紀子（NTT データ数理システム）、山本和寛（NTT データ数理システム）、武藤雅基（NTT データ数理システム）、石田和宏（クリアタクト）、梅崎猛杉山邦洋（プイシंक）、上原将司（アシストネット）、高橋秀明（アシストネット）、片山 敏弘（メディカル DX リサーチ合同会社）、大和田智之（ウィルグループ）、西田昌弘（大阪商工会議所）、倉骨彰紀（大阪商工会議所）、狩野恒一（コベルコ科研）、景山直希（神戸商工会議所）、片山善寛（アシスト）、伊藤久司（東海ソフト）、渡辺健司（立命館大学）、藤田祐介（サステナビリティ・DX 推進協議会）、山下和也（産業技術総合研究所）（順不同）

事務局：宮本亜希、井上繭（産業技術総合研究所）

～2025年4月現在～

5. 年間スケジュール（予定）

全体定例会 ＊詳細は別途 HP の新着情報に掲載

・第1回～第3回全体定例会（開催日未定）

・総会、第4回全体定例会（3月）

外部向けイベントの開催予定

・WG 見本市

・各 WG 主催のオープンイベント

6. 収支予算

2025 年度予算は下記表の通り。

(2025 年4月30日現在)

費目	金額	備考
収入		
会費	8,600,000 円	100,000 円×86 口
合計	8,600,000 円	
支出		
WG 活動費(加速費を含む)	1,610,142 円	内訳は次ページ別表に記載
運営費(人件費、物品費、役務等)	6,989,858 円	
合計	8,600,000 円	

別表. WG 活動費(2025/4/30)

2025年度 WG 予算計画	計画予算 合計	<内訳> 旅費・宿泊 費	<内訳> 会議・イベン ト費	<内訳> 研究・開発・実 証費	<内訳> 備品・機 材購入費	<内訳> 計算機利用 料
1.Human Life	105,500	21,100	0	84,400	0	0
2.ものづくり	0	0	0	0	0	0
3.社会課題解決	0	0	0	0	0	0
4.ユースケース	0	0	0	0	0	0
5.医療・ヘルスケア	189,478	0	61,190	63,300	21,100	43,888
6.サイバーフード	0	0	0	0	0	0
7.観光	0	0	0	0	0	0
8.教育	569,700	42,200	0	443,100	84,400	0
9.データ・知識融合	63,336	63,300	0	36	0	0
10.データプラットフォーム	0	0	0	0	0	0
11.データマイニング	0	0	0	0	0	0
12.AIツール	0	0	0	0	0	0
13.AIリビングラボ	211,000	42,200	0	168,800	0	0
14.深層学習	126,600	63,300	0	0	0	63,300
15.関西支部	0	0	0	0	0	0
16.九州支部	0	0	0	0	0	0
17.東海支部	158,250	63,300	94,950	0	0	0
18.神戸支部	10,550	0	10,550	0	0	0
19.AI サービスシステム	42,200	42,200	0	0	0	0
20.Human Resource	0	0	0	0	0	0
21.バリューデザイン	0	0	0	0	0	0
22.地域連携	126,600	63,300	63,300	0	0	0